会 議 録

1 会議名

令和2年度第5回直江津区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

【報告事項】

・直江津屋台会館と三の輪台いこいの広場の有効活用にかかる市場調査について(公開)

【協議事項】

- ・自主的審議事項について(公開)
- 3 開催日時

令和2年7月14日(火)午後6時30分から午後7時12分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

_

- 7 出席した者 (傍聴人を除く) 氏名 (敬称略)
 - · 委 員: 中澤武志(会長)、青山恭造(副会長)、田中美佳(副会長)、 磯田一裕、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、竹田禎広、 田中 実、田村雅春、古澤悦雄、増田和昭、町屋隆之、水澤敏夫、 水島正人(欠席者2名)
 - ・事務局: 北部まちづくりセンター:中村センター長、小池係長、

霜越会計年度任用職員

施設経営管理室: 竹下室長、青柳係長

産業政策課:米山参事、長谷川主任

環境保全課:北澤係長

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の 出席を確認、会議の成立を報告

【中澤会長】

- 挨拶
- ・会議録の確認:竹田委員、田村委員に依頼

議題【報告事項】「直江津屋台会館と三の輪台いこいの広場の有効活用にかかる市場調査」について、担当課へ説明を求める。

【施設経営管理室:竹下室長】

挨拶

資料No.1 「『直江津屋台会館』と『三の輪台いこいの広場』の有効活用に向けた市場調査の実施について」に基づき説明

サウンディング型市場調査とは、最近、国でも積極的に活用している調査で、事業の 実施段階において、民間事業者等との対話の中で意見や新たな提案を広く募集して事業 の実施に活用する調査である。

当市においても、高田区において旧師団長官舎の中にレストランを導入、また今年度は、三和区の米と酒の謎蔵という休止施設を民間事業者への有償譲渡に結びつけたといった成果がある。当然、民間事業者との対話にあたり民間事業者からは、有効利用の促進策、収支の改善策、また遊休箇所の利活用策のような提案を想定している。

参考までに、直江津屋台会館と三の輪台いこいの広場の直近の実状を説明させていただきたい。直江津屋台会館は平成6年度に建設した。うみがたりオープン前までは、年間1,000人から3,000人という利用者の推移があり、平成30年度にうみがたりがオープンし、2万3,798人まで利用者が増加した。主な利用としては、うみがたりを見学後の休憩場所としての利用が1番多くなっている。令和元年度は、オープン効果が下火になったこともあり9,660人まで減少している。この施設は、平成30年の5月に「政策的利用の促進」として、使用料の減免制度を新たに設けている。減免制度の内容は、貸館の設置目的である「地域の活性化に資する」という原点に立ち返り、地元団体や事業者の皆様から利用促進する方策として一定の目的に沿った施設の利用であれば使用料を政策的に免除するといった取組を行った。しかし、取組以降この制度を

活用した利用が4件にとどまっている。こうした実状から単に貸館という視点ではなく 民間事業者から幅広く施設の有効活用策についての提案がほしいといった趣旨でサウン ディング型市場調査を実施する予定である。

【産業政策課:米山参事】

三の輪台いこいの広場は昭和60年8月に旧労働省の外郭団体である雇用促進事業団、その後、雇用・能力開発機構と組織改編し現在は解散している外郭団体が整備し運営していた。平成15年5月に雇用・能力開発機構から上越市が購入した。その後、利用者が減ってきたこともあり平成27年度に地域協議会に諮問し、センターハウスとテニスコートを廃止した。今現在、利用の実態は、私どもと週1回トイレ清掃を委託している業者の確認する限りでは、平日は広場の利用はほとんどなく、旧テニスコートでスケートボードの練習や、駐車場で昼休みに車中で休憩をとる人が利用している。閉鎖して5年経ち、この間、利活用等考えてみたが、行政ではなかなか妙案に至らなかった。今回サウンディング型市場調査で、民間業者の意見を参考にさせていただきたい。

【中澤会長】

報告事項に対し、質疑を求める。

【田村委員】

直江津屋台会館は、事務所部分だけどこかに貸しているのか。

【施設経営管理室:竹下室長】

昨年度末までJ-ホールディングス株式会社という市の第3セクターの事務所が入っていた。会社の都合で4月から事務所機能は、柿崎のマリンホテルハマナスに移転している。

【田村委員】

直江津屋台会館に関しては、細かく利用人数を調べてあるのに、なぜ、三の輪台いこいの広場は利用人数が出てこないのか。

【産業政策課:米山参事】

正確に数字を取っていない。普段の週1回の清掃業者の報告、或いは、私どもで月1回程度見に行く時や個人的に週末に見に行っている感覚だけでお話をさせていただいた。

【田村委員】

利用状況については業者に委託しているのだから記録簿があるのではないか。

【産業政策課:米山参事】

普段は、清掃業者の人にサービスで利用者の状況を見てもらっている。平成27年まではセンターハウスに管理人がいたので、そういった数字はある。管理人を廃止してから普段誰もいないので正確な数字は分からないということでご理解いただきたい。

【中澤会長】

今、管理人がいないので、数字をとることができないということでよいか。 他に質問はないか。

【町屋委員】

三の輪台いこいの広場の件だが、今日の主旨がよく分からない。この場で何かを聞き たいわけではなく、あくまで報告ということか。今ほど口頭で説明されたが、直江津屋 台会館と三の輪台いこいの広場の過去の経緯を事前に資料として添付していただきたか った。次回からはそうしてほしい。

その上で、今の「三の輪台いこいの広場は、ほとんど利用者がいない」というのは、 認識の違いがあると思う。私は月に1回ぐらい三の輪台いこいの広場に行くが、子ども 連れで公園を散歩するとか、三輪車や自転車の練習をしている子もいる。使い勝手をも っと良くできないかと思っている。こういうことをするのはすごくありがたいし、どん な話が出てくるのかも楽しみにしている。そういうところで民間の声をできるだけ拾っ ていただければありがたい。

【施設経営管理室:竹下室長】

資料の件は大変申し訳ない。私どもが覚えている限りで補足したが、次回以降は気を つけたい。

【中澤会長】

他に質問はないか。

【磯田委員】

サウンディング型市場調査について認識が不足しているので、もう少し詳しく教えてほしい。今後民間活力を期待して、旧師団長官舎のレストラン化というのは何となく分かる。市で、これがサウンディング型市場調査というからには、ある項目があってヒアリングの形だったりアンケートだったり、或いは、市のほうがこういうふうにしたいとか、これは今までこうしてきたけど駄目だったので、何かアイディアがあるかを聞く、或いは、直江津屋台会館としてこうしたいから、こういうふうにあるべきだと思っているから、こういうことをしているのか。或いはもう民間業者がコマーシャルベースで何

かできるという提案を期待して、それにすがりたいという感じの調査なのか。サウンディング型市場調査のヒアリング対象の活用の方針が見えていなくてその調査によって出てきたアイディアなり、形がどのように検証されてどのように有効活用の町のコンセンサスを得ていくシステムになっていくのかが不安である。そこをよく教えていただきたい。

【施設経営管理室:竹下室長】

直江津屋台会館は建物としての有効活用も当然であり、直江津中心市街地の活性化という側面で利活用していくとありとあらゆる側面の対応が出てくると思う。ただ市としては、これまでは貸館ベースでの利用促進策を図っていくことを強く取り上げてきたが、なかなか利用者数が増加しなかったため、行政として新たな発想が必要だと考えている。それを事業化するに当たり、行政だけで単独でできるのか、また民間事業者と連携しなければいけないのか、そういった側面も非常に強くなってくるかと思う。また旧師団長官舎のように、例えばレストランや売店などをやろうとしても、民間でそこに協力してくれる人が実際いるのかどうか。そういった部分もあらかじめその事業実施を判断する段階ではなく、そこに至る前段の中でいろいろな方向性を検討させていただきたい。その部分で、民間事業者から、ありとあらゆる提案をまずいただいた中で、建物としての利活用、また直江津の活性化のための利活用、そういった側面に合うような提案があれば、そこを事業化できるような考えで今回サウンディング型市場調査を実施する考えでいる。

【磯田委員】

サウンディング型市場調査の結果を市民の人たちに公表して、こういう案が出てきている。或いは、これを受けて市はこういうふうなことを考えているが、皆さんと一緒に 考えるというような枠組みができるのか。

【施設経営管理室:竹下室長】

民間事業者から提案をいただく。また市としても、いろいろな利活用策は考える。実際その事業を実施するに当たり、地域協議会委員の皆様、地元の皆様とその利活用に向けた方策をもう一度十分協議させていただき、実現に向けて動きたいと考えている。

【中澤会長】

特に、その目的を持った調査ではないということか。今後、何かビジョンを持つため に調査をしているという認識でよろしいか。

【施設経営管理室:竹下室長】

その通りである。

【古澤委員】

今、民間等にいろいろ話を聞くということだが、直江津屋台会館の維持費や光熱費等々いろんな部分で数字が出ていると思う。その辺をお聞かせいただきたい。先般も、青山副会長から「何故、あそこを活用しないのか」という意見が出たが、私もそのとおりだと思う。「うみがたりのおかげで利用者が増えている」ということなので、民間の人も喜んでくると思っている。直江津の町を活性化させるにはやはり人を集めることが1番大事なことだと思うので、積極的に利活用をしてほしい。

【中澤会長】

要望として、お聞き願いたい。

【町屋委員】

先ほどの民間事業者の意向を広く聞くという話と並行して、市でも利活用を考えるという話があったがどっちがどうではないとは思う。例えば、そこに同時に並行して進められるのであれば市民の声も同時に民間からこういうものが出てきたと言って市民に落とすのではなくて、先ほどから旧師団長官舎の話が出ているが、市民があそこをレストランにしたいと思ったわけではないと思う。そういう活用をしたいという提案があったから始めた。例えば市民からの意見でもっと違うものになったかもしれないし、その可能性やバランスを考えていただいた上で進めていかないと、あくまでも民間ありきだと引受先を探しているみたいな感じになってしまう。もちろん、どちらかというと民間業者のお知恵拝借と行政が考える中、最後にやっぱり市民の声って部分、市民のニーズとしてはこういうものを、それが多分利益にかなわないものかもしれないけれども、そこに市民のニーズがあるのであれば、そこは両方考えていただきたい。

【施設経営管理室:竹下室長】

また事業化の部分は、幅広く市民の声を聞くような場を設けるとか、その辺は十分検 討させていただきたい。

【中濹会長】

ほかに質問がないので終了とする。また何かあったら報告いただければと思う。

施設経営管理室・産業政策課・環境保全課 退室 ―

次に、自主的審議事項について、事務局に説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.2「直江津区に関するデータ」
- ・資料No.3「自主的審議の進め方について」
- ・資料No.4 「各区の自主的審議事項の取組状況」に基づき説明

直江津区には3つの自主的審議事項がある。「直江津まちづくり構想について」は直江津区が抱える様々な課題を総合的に検討するということで、前期においては住民参加のグループ討議や、町内会長との意見交換会などを行って、課題の共有をした。平成28年2月には「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について」という意見書を提出し、市から「協議会と連携し取り組んでいく」旨の回答があり、その後、施設オープン後も担当課から適宜報告を受けたり、水族博物館の館長から水族館の取組みについて話を聞いたりしてきた。

「消防団のあり方について」は市の取組として平成29年5月に上越市消防団適正配置検討委員会を設置し、消防団に係る課題等について検討を行ったことから、直江津区地域協議会としてはその検討結果をふまえて審議を行うこととした。上越市消防団適正配置検討委員会においては、平成31年3月に消防団が抱える課題についての対応策をまとめ、その結果については市のホームページにも公開している。

「防犯灯の設置や維持管理のあり方について」は市の取組として平成27年度から防犯灯のLED化について補助制度を実施している。直江津区地域協議会としてはその状況をふまえて審議を行うこととした。

事務局としては、自主的審議の進め方として、まずは、前期から引き継いだ3つのテーマについて今期の地域協議会でどう審議していくのか。テーマ及び審議の進め方についてまた練り直しをお願いしたい。提案書の様式も示したが、8月以降の地域協議会において審議していただきたい。

【中澤会長】

今までの自主的審議ということで、直江津区が取り組んできた経過報告と受け取っていただき、「同じテーマでもう少し話を深めたい」或いは、「他のテーマを設定する」といったことは、次回以降で話をしたい。

次に、その他について、事務局に説明を求める。

【小池係長】

・次回協議会:8月4日(火)午後6時30分~

【中澤会長】

- ・会議の閉会を宣言
- 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL: 025-531-1337

E-mail: hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。